

(様式3)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	西ノ島町立西ノ島中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習	西ノ島町の未来を考えよう	役場職員、観光協会、保育園職員、医師、食生活改善推進員、地域おこし協力隊、大人の島留学生、地元商店、地元住民
ねらい	西ノ島町の町づくりに関する各分野の課題や取組を知ることにより、自分たちに何ができるのかを考え、解決するために行動する。		
<p>1 取組の概要 中学校3年生が、総合的な学習の時間において「子育て支援」「観光」「漁業」「地域活性化」の4つのグループに分かれ、インタビュー活動やアンケート調査等により、地域の実態を把握し、課題解決の方法を考えた。また、自分たちのプランを実践したうえで更なる発見や改善点を見出した。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・探求学習を進めるためのつながりを持つとともに、ふるさとの魅力を再発見し、良さを発信しようとする態度を育てられるよう、地域の活性化のために頑張っている大人と複数回対話した。 ・参画意欲を高めるために、地域の大人からアドバイスや励ましの言葉をもらえるように働きかけた。また、地域のための効果的な行動となり、生徒が達成感を持ち、貢献意欲をさらに引き出すよう、地域課題解決にあたっている大人と共に考え、実際の活動をした。</p> (学力育成の視点から) ・多角的、多面的に考えたり、よりよい解決策を導く力を育てたりするために、様々な人との出会いから得た学びについて、対話を通して深めた。 ・聞き手を意識して、より分かりやすく伝えられるよう、地域住民に伝えるという目的意識をもたせた。 ・実生活の問題と自分との関係性を見つけ、自分にできることを考えて実践した。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・「西ノ島町のよさをもっと島外の人に知ってもらいたいと思うか?」「西ノ島の課題を解決するために、またはよりよくしようとするために、行動しようという気持ちを持つことができたか?」という問いに、全ての生徒が肯定的回答をした。</p> (学力育成の視点から) ・インタビュー活動を行ったり、共に活動したりすることで、コミュニケーション力がついた。 ・意見の相違があっても、互いの意見のよさを理解し、尊重しながら折り合いをつけ提案に結びつけることができた。 ・たくさんの情報から、必要な情報を選び分析し、課題解決に役立てる力がついた。 ・自分たちの解決策を実践することで、改善策を知ることができ、よりニーズに合った提案をすることができた。 <p>4 課題や今後の展望 ・町の社会教育主事との連携をより深めながら進めていきたい。</p>			



「地域活性化」グループ
朝市を実際に企画・実践

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)